

「分野別読み物資料及び授業展開例」の

見方

分野別読み物資料及び授業展開例のポイント

教材活用例として、「先人の伝記 → 自然 → 伝統と文化 → スポーツ」の順に、(1)開発資料の実際(素材の概要、学習指導案等)、(2)活用のポイント、(3)授業の実際、(4)各教科等との関連、(5)心のノート活用の活用について、各学校での授業にすぐに活用していただけるよう心掛け記載しています。

- ・「(2)活用のポイント」については、「(1)イ(ア)作成の要点」に記述している資料の特性、児童生徒や地域の実態等を踏まえて、ねらいを達成するために取り入れた指導方法などを各項目に整理し、記述しています。各項目は「(3)授業の実際」の項目と対応させています。
- ・資料とワークシートについては、授業ですぐに使えるように資料とワークシートの縦書き版も併せて掲載しています。ダウンロードして御活用ください。

以下、「分野別読み物資料及び授業展開例」を活用する上で、特に御留意いただきたい点について、記述します。

(1) 開発資料の実際

開発教材に込められた作成者の思いを理解し、御活用いただけるように、ア 素材の説明、イ 資料の解説、ウ 資料全文、エ 授業展開例ー学習指導案(略案)ーの流れで具体的に記載しています。

教材活用例(1)「ゆめにむかってー栗原恵選手のゆめー」  
【小学校中学年 主題:ゆめにむかって 内容項目:1の(2)】

(1) 開発資料の実際  
ア 素材の説明  
(ア) 素材の概要  
(素材「栗原恵さん」について)



栗原恵さんは、江田島市能美町出身のバレーボール選手である。全日本(火の鳥NIPPON)チームの副キャプテンを務めるなど活躍している。小学校4年生からバレーを始め、高校時代にはインターハイ・国体・春のバレーに優勝し、三冠を達成した。さらに夢であったアテネ、北京のオリンピックにエースアタッカーとして連続出場し、それぞれ4位入賞を果たすなど多くの実績を残している。

昭和39年	佐伯商業専門学校に入学
平成10年	兵庫県大津中学校に転校
平成12年	山口県三田女子高校に進学
平成14年	インターハイ(国体・全日本)優勝の高校3年生
平成15年	高校3年、全日本代表メンバーに選出
平成16年	アテネオリンピック入賞
平成18年	幼児種子青春祭の最優秀選手(中学生)に選出
平成19年	全日本代表、ベストアタッカー部門9位
平成20年	北京オリンピック入賞
平成21年	全日本(火の鳥)NIPPONの副主将
平成22年	世界バレー選手権

栗原恵さんの経歴

(イ) 4コマ絵

主人公恵さんに対して、補助的な人物としてお父さん、お母さんを設定した。幼い頃から恵さんに楽しくバレーを教え、その基礎をつくったお父さん、信んである恵さんの話を聞き、後悔しない進路を決めるように話すお母さんである。そして、恵さんが信んで決意する場面を中心場面として設定した。

場面 の イメージ	1	2	3	4
絵の 説明	小さい頃からお父さんとバレーの練習をする。バレーが大好きな恵さん。	小学校でスポーツ少年団に入り、バレーを楽しくしながら、練習に励む恵さん。	バレーの強い学校から転校の誘いがあり、進路について迷う恵さん。	信ん転校、転校を決意し、夢を果たしてオリンピック選手になった恵さん。

ア(イ) 4コマ絵

資料作成に際して、文章化しやすくするために4コマ絵(起承転結)を設定しています。

作成の手順として、この4コマ絵を膨らませて文章化しているのので、資料分析表における場面は必ずしも4場面ではありません。また、国語的な起承転結と道徳資料における起承転結は必ずしも同じではないことに留意しなければなりません。基本的には、道徳資料における「起」は道徳的問題が起こったところと考えられます。

★【心に響くちょっといいはなし】

花田植と踊りをおこなってきた日本人の生活のありさまをよく示す行事といえます。昭和51年、川東・壬生両田楽回からなる「壬生の花田植」が国の重要無形民俗文化財として指定を受け、平成21年度にユネスコに世界無形文化遺産として推薦されることが決定しました。

地域の人たちは、「この祭りを残し、伝えていかなくてはならない。」という思いとともに、地域の人達のつながりを大切にしています。壬生の花田植の練習に行き、踊りを教わることは、文化の伝承という意味合いと共に、「地域の青年の仲間入りをする」という意味合いが大きいように感じられました。「田植えが終わったこの祭りの楽しさ・コミュニティーへ参加する楽しさ、青年への通過儀礼としての役割」がこの祭りが、長い間、大きく省略されることなしに、受け継がれてきた原動力であるとも言えます。

また、「壬生の花田植」は、このお祭りの形式や踊りのすばらしさだけを取り上げて、ユネスコに世界無形文化遺産として推薦されたわけではなく、「日本人の生活の営み」を表す「文化的な価値」が高いものの一つとして推薦されているということです。



★【心に響く  
ちょっといいはなし】

素材についての情報は、より広く、深く、多面的に収集する必要があります。しかし、開発の視点として、ねらいとする道徳的価値と、その焦点化を明確にもつことは欠かせないことから、苦勞して得た情報（エピソード等）も全て資料に盛り込むことはできません。

そこで、資料作成に活用できなかった情報等（エピソード等）を掲載しました。道徳の時間の補助資料や事前・事後の指導などに御活用ください。

Ⅰ 授業展開例 - 学習指導案（略案） -

主人公の心情に共感しながら地域への愛着を持たせる展開  
～ 役割演技を生かした指導～

(ア) 主題名 町のじまん 4- (5) 郷土愛

(イ) ねらい

自分の町にある伝統文化に愛着をもつようになった主人公の心情を考える活動を通して、自分の住む町の良さについて考え、大切に思う心情を育てる。

(ウ) 資料名 「みぶの花田うえ」

(エ) 学習指導過程

	学 習 活 動	主な疑問と児童の心の動き	留 意 点 (☆評価の観点)
導 入	1 本時の学習に向けての意識を高める。	○ みんなが楽しみにしていることは何ですか。	○ 自由に意見を出させ、雰囲気づくりをするとともに、本時への方向づけをする。
展 開	2 資料を聞いて話し合う。	○ 屋台に友達と走って行って、夢中で買物をするひろ子はどんな気持ちだったのでしょうか。 ・ 楽しいなあ。 ・ たくさんいろんな物を買いたいなあ。 ・ どのお店が出ているのかな。 ・ 友達と一緒にいけるから楽しいなあ。 ・ 何かいいものがあるかな。 ○ どうして、ひろ子さんは、夢中で花田植を見たのでしょうか。 ・ とてもきれいだから ・ 花田植がすごいということが分かったから ・ みんなが力を合わせて踊っていたから。	○ 資料を読み聞かせ、写真を見せながら資料を提示するようにする。  ○ 屋台に興味に移っている主人公の心情を共感的にたどせるようにする。
		○ 花田植やみんなを見てにっこりと笑っているひろ子さんはどんな気持ちだったのでしょうか。 ・ 外国の人も知っているなんてすごいなあ。 ・ とてもきれいなお祭りだなあ。 ・ みんなとてもうれしそうだなあ。 ・ トーマス先生も喜んでるなあ。 ・ すごくお祭りが私たちの町にあるんだ。 ・ 壬生の花田植ってすごいなあ。  ○ 友だちに壬生の花田植についてお話をあげよう。 ・ 壬生の花田植ってすごいんだよ。 ・ 外国でもとても有名なんだそうだよ。 ・ すごくきれいでね。いろいろな半や衣装を着た人がいるんだよ。 ・ すっごく昔からやってきているんだよ。 ・ 来年は一緒に見ようね。 ・ 私はいつかやってみたくて思っているよ。	○ 映像を見せながら、花田植の様子を具体的に見せて、夢中で見ている主人公の心情を想像させるようにする。  ○ 主人公になつたりで、友だちに伝えたいことをワークシートに書かせ、共感することができるようになる。  ☆ 主人公の感情になりきって想像することにより、主人公に対する思いを自分のこととして実感に伴い、主体的にとらえることができたか。

Ⅱ (エ) 学習指導過程  
(☆評価の観点)

道徳教育における評価は、道徳性という人格の全体にかかわるものであることから、客観的な理解の対象とされるものではありません。したがって、道徳の時間においても、数値などによって不用意に評価してはなりません。

しかし、それぞれの指導のねらいとのかかわりにおいて児童生徒の心の動きの変化などを様々な方法でとらえ、それによって自らの指導を評価するとともに、指導方法などの改善に努めることは大切です。

## エ(オ)資料分析表

教師による発問は、児童生徒の思考や話し合いを深める重要な鍵になります。しかし、場面ごとの時系列的な発問は、場面ごとの登場人物の心の中を問い掛けるだけの平板な授業づくりになる不安もあることから、発問は重要なものに絞っていく必要があります。したがって、それぞれの資料分析表における資料の場面数と学習指導過程の発問数が必ずしも一致していない場合があることを御承知ください。

### エ(オ)資料分析表 - 資料場面 -

エ 授業展開例 - 学習指導案(略案) -

主人公の心情に共感しながら地域への愛着を持たせる展開  
～ 役割演技を生かした指導～

(ア) 主題名 町のじまん 4～(5) 郷土愛

(イ) ねらい

自分の町にある伝統文化に愛着をもつようになった主人公の心情を考える活動を通して、自分の住む町の良さについて考え、大切に思う心情を育てる。

(ウ) 資料名 「あふの花田うえ」

(エ) 学習指導過程

学習活動	主な発問と児童の心の動き	留意点 (☆評価の観点)
1 本時の学習に向けての準備を高める。	○ みんなが楽しみにしていることは何ですか。	○ 自由に意見をを出さず、雰囲気をつくりやすくなるように、本朝への方向づけをする。
2 資料を聞いて話し合う。	○ 屋台に友達と走って行って、夢中で買い物をするひろ子はどんな気持ちだったのでしょうか。 ・羨ましい。 ・たくさんいるな物を買いたいな。 ・どんなお店が出ているのかな。 ・友達と一緒にいけるから楽しいな。 ・何かいいものがあるかな。 ○ どうして、ひろ子さんは、夢中で花田橋を走ったのでしょうか。 ・とてもきれいだから ・花田橋がすごいということがあったから ・みんなが力を合わせて ○ 花田橋やみんなを見て、ひろ子さんはどんな気持ちか ・外国の人も知っているな ・とてもきれいだ ・ずっとお祭りだ ・みんなとでもうれしそうだな。 ・トーマス先生も喜んでるんだ。 ・すごいお祭りが私達の町にあるんだ。 ・壬生の花田橋ってすごいなあ。 ○ 友だちに壬生の花田橋についてお話をさせてあげよう。 ・壬生の花田橋ってすごいんだよ。 ・外国でもとても有名なところだよ。 ・すごくきれいだね。いろいろな半や衣装を売っているんだよ。 ・ずっと昔からやってきているんだよ。 ・来年は一緒に見ようね。 ・私はいつか行ってみたいと思っているよ。	○ 資料を読み聞かせ、写真を見せながら資料を提示するようにする。 ○ 屋台に興味を持っている主人公の心情を共感的にたどらせるようにする。
3 展開		
4 閉		

### エ(エ)学習指導過程 - 主な発問と児童生徒の心の動き -

資料場面	登場人物の行為・心情	主人公の心情	児童の書き入れ
トーマス先生に会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。	トーマス先生に出会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。	トーマス先生に出会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。	トーマス先生に出会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。
トーマス先生に会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。	トーマス先生に出会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。	トーマス先生に出会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。	トーマス先生に出会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。
トーマス先生に会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。	トーマス先生に出会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。	トーマス先生に出会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。	トーマス先生に出会って、壬生の花田橋について話を聞くひろ子。

## 著作権

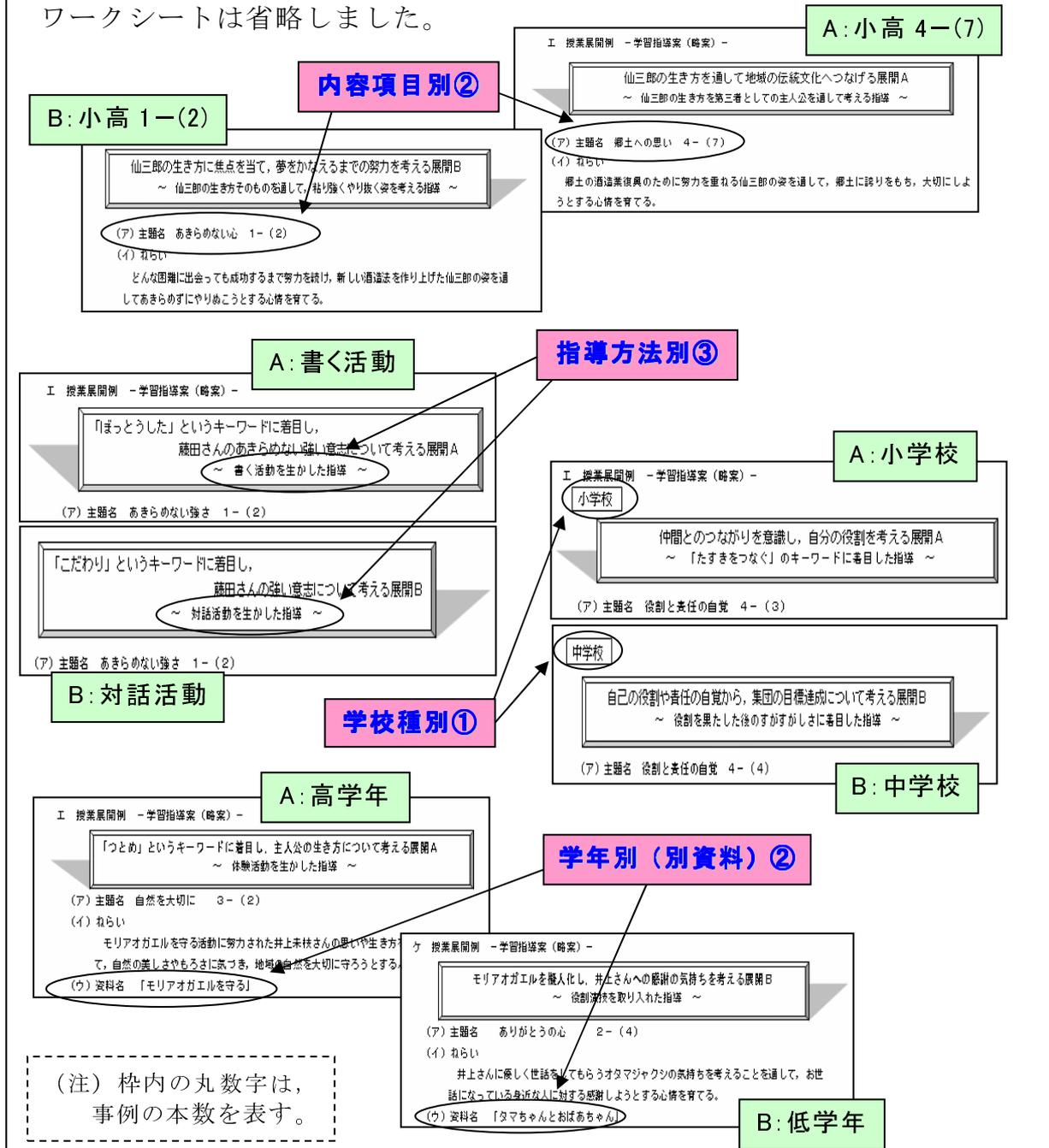
教材の活用の際して、教師が自分の授業で他人の著作物を複製して利用することは、一定の条件の下に著作権者の了解なしにできることになっていきます(著作権法第35条:「地域教材開発の手引」P.13参照)。

ただし、授業や研修以外で本教材を活用する場合は、著作権者の許諾が必要となりますので御留意ください(無断転用厳禁)。

## エ 授業展開例

授業展開例において、必要に応じてA案・B案と示した資料があります。基本的に学習指導案は、道徳的価値を焦点化し、教師の意図や構想が最も適切に表現されるよう作成すべきであると考えます。しかし、資料の内容や登場人物の言動には、複数の道徳的価値が含まれている場合も少なくはありません。また、ねらいを効果的に達成する指導方法には多様なものがあります。

そこで、一部の事例において授業を柔軟に構想していくために、試案としてB案を作成しました。但し、B案については、資料分析表、板書例、ワークシートは省略しました。



## (2) 活用のポイント

「(1) イ (ア) 作成の要点 (資料の特性, 児童生徒や地域の実態等)」を踏まえて, ねらいを達成するために取り入れた指導方法などを記述しています。

項目のアについては, 道徳の時間の指導効果は教師による発問の適否により大きく変わることから, 「発問の工夫」を共通項目として設定しています。項目のイ以下については, それぞれの資料の特性等を踏まえ, 活用する際の指導方法として重要度の高い順に設定しています。

但し, 指導方法は手段です。各学校においては, 学校の実態や授業のねらいなどに応じて検討し, 最も適切な指導方法を選択・工夫してください。

### (2) 活用のポイント

(例)

- ア 発問の工夫
- イ 役割演技
- ウ 資料提示の工夫
- エ 動画の活用

記号が対応

### (3) 授業の実際

(例)

- ア 発問の工夫
- イ 役割演技
- ウ 資料提示の工夫
- エ 動画の活用

#### (2) 活用のポイント

本資料では, 地域に伝わるお祭りを題材として取り上げている。児童の実態として, 壬生の花田植に行ったことはあるが, 花田植に興味があるのではなく, 人が多く集まる露天屋台などもあるイベントとしてとらえているのではないかと考える。ここでは, 児童の実態に近い主人公が登場し, 初めて花田植の持つ価値や人々と花田植のかかわり方について知り, 愛着を感じていく様子が描かれている。地域の教材であることから, 主人公の心情を考えていくことで, わが町への愛着も深まっていくような展開の工夫をしたいと考える。この資料を通して, 壬生の花田植について初めて知ることが, 低学年の児童にとっては, 多いと考えられる。そこで, 資料提示の工夫や動画の活用も重要になってくる。

#### ア 発問の工夫

まず, 祭りの買い物から花田植に夢中になる主人公の心情の変化について考えた後, 花田植のすばらしさを友だちに伝えようとする主人公になりきって考える活動を中心発問とした。

#### イ 役割演技

主発問では, 児童は主人公役となり, 指導者は友だちになって演技を行う。地域の資料であるので, 主人公になりきって花田植の自慢をすること自体が, 学習者自身の地域への理解や愛着に直結していくのではないかと考える。

#### ウ 資料提示の工夫

本資料では, 小学校2年生を対象と考える。授業を行う際には, スライドショーを準備して授業に当たるようにしたい。

#### エ 動画の活用

花田植の場面では, 実際の花田植の様子についてビデオを見せるようにしたい。写真だけでは伝えることのできない, 音楽や人々の動きのすばらしさがあるからである。

#### (3) 授業の実際 - 児童生徒の反応を踏まえて -

#### ア 発問の工夫

最初, 主人公の屋台で買物をしている時の気持ちについて発問する。これまでの壬生の花田植に対する主人公の心情について考える。舞台が

学習者の住む町になっているので, 学習者自身の今の心情と近いのではないかと考える。この発問では, 児童は屋台で買物を楽しむ主人公の心情について考え, 積極的に発表をすることができていた。「金魚すくいがしたい」「どれを買おうかな。」というお祭りに行った時の自らの心情を思い起こして発表している児童も見られた。

次に, 「なぜ, 花田植を夢中で見るようになったか。」という発問を行う。主人公が花田植のすばらしさについて気づいたことを考えさせる。資料の内容のふりかえりもねらっている。3頁の実験の中で, 花田植の知識を順に挙げてしまう場合と, 大きく「花田植をすごいと思ったから」という意見を述べる場合があった。前者のようになったのは, その直前に, 花田植のすばらしさを短冊にまとめたものをふりかえりながら提示したからであると考えられる。資料を読みながら提示していくとよりよいと感じた。

そして, 周りの人のようすにっこりとはほえむ主人公の気持ちについて発問する。主人公の町の人たちと一緒に花田植を見ているうれしさについて児童に考えさせた。花田植とまわりの人々を見てにっこりとしている主人公の心情については, 「みんな楽しそうだな。」「この町に花田植があってよかったな。」という考えが出てきていた。そのことが, 次の役割演技に生かされていった。

中心発問では, 屋台に行っていた友だちに花田植の良さを伝えるためになんと云ったらよいか考える発問をする。中心発問にかかわる児童の意見には次のようなものがあった。

- ・花田植ってすごく大切だよ。私まで夢中になったよ。力を合わせてがんばっていたよ。
  - ・みんな息ぴったりそろえてやっているんだよ。
  - ・花田植って900年も前からやっていたんだって。
  - ・ずっと昔から伝わっているんだって。
  - ・花田植にいったらみんなニコニコして嬉しそうだったよ。
  - ・花田植は町で教えあってがんばっているんだよ。
- 一帯花の部分では, 花田植だけでなく, 自分の身の回りにある「私の大切な場所・もの」へと目を向

「分野別読み物資料及び授業展開例」の活用を通して, 各学校において, 道徳の時間の特質を生かした展開が可能となるよう, また, 児童生徒に充実感をもたらすような生き生きとした指導が進められることを期待しています。